公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターたけのこ園			
○保護者評価実施期間	令和6年12月25日	～	令和7年1月24日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	１５名	（回答者数）	１２名
○従業者評価実施期間	令和7年1月21日	～	令和7年2月7日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	６名	（回答者数）	６名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・通園形態では、祝日は親子通園。平日は親子・単独通園の区別なく利用可能としている。 ・家族支援を重視して、話しやすい関係性を大切にし、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	・親子通園の良さ、単独通園の良さを取り入れながら、家族の事情に合わせて、平日は通園形態にとらわれない利用ができ、利用しやすい運営形態で家族の負担を少なくしている。 ・個別学習後に保護者とのカンファレンスを行っている。	・親子通園を通して保護者同士の交流の機会を増やしていくと共に、今しかない大切な幼児期を家族と一緒に丁寧に見ていくようにしている。
2	・作業療法指導３６回／年間、言語療法指導１８／年、音楽療法指導１５／年、就学心理相談３／年、個別専門指導５／年、口腔個別専門指導３／年などの専門指導を実施し、適切な支援の提供を行っている。	・専門講師や保育士、保護者との連携を重視している。特に保護者には、専門講師や保育士から見た児童の発達状況や家庭生活での留意点を伝えている。また、保護者からの相談を受け、児童や家族のサポートを行っている。 ・専門指導では個別や集団指導などそれぞれの特徴を生かしながら、児童の成長発達にアプローチしている。	・専門指導をいかに有効的に個別支援計画に反映していくかの取組を行っていきたい。 ・保育士は専門指導後のカンファレンスを通じて、支援上のアドバイスを受けて療育の質の向上を目指していきたい。
3	・保育園や幼稚園など併用施設との情報交換を行い、併用施設での児童の活動状況を見たり、職員との情報交換を通じて児童を総合的に支援している。	・情報交換には職員２名が担当し、多角的な視点から児童の状況を見るようにしている。併用施設の職員との情報交換を通じ、お互いの取組や課題を洗い出し、児童の成長に結び付けている。	・連携を通じて児童を総合的に見ていくといった取組を今後も継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所設備の老朽化。	・特に児童用トイレや温水設備などで、建物が古く、児童用の便器が少なく、使用時の待ち時間が長くなっている。 ・園庭遊具の塗装の劣化や室内では木質の部分のささくれなどが目立つ。	・児童用の補助便座を有効活用して、待ち時間を短縮している。 ・やすり掛けや塗装をして、怪我などにつながらないようにしている。
2	・地域交流が少ない。	・外部や初めての場であったりと、環境の変化に対し不安が強い児童もいて、配慮している部分もあった。	・園外保育の際は、職員も十分な配慮をもって関わりながら地域に出たり、地域の子どもたちと接する機会を増やしていく。
3	・非常時等の対応が、保護者に認知されていない。	・避難訓練、事業所の安全対策、自然災害の業務継続化計画、感染症の業務継続化計画など保護者への周知が不十分。	・計画策定の周知をはかる。計画書の配布、園だより、ホームページ、連絡帳等のツールを使い実施していく。。

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センター　たけのこ園

公表日　令和７年３月

利用児童数　１５名　　回収数 12家族

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	9%			・少人数活動なのでいいと思います。 ・大変広くて、いろいろな動きのアプローチをしていただけて嬉しく思っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	83%	8%	8%		・職員の数が足りない等で散歩や活動が出来なくなることがあるので、増やしてほしい。	・活動内容に合った適切な職員配置を心がけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91%	,		9%	・適切だと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・いつも清潔で安心です。	・施設、特にトイレが古くご迷惑をお掛けしています。またバリアフリー化になっていないところもありますが、安心安全を心がけています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	91%	9%			・子どもに対してもう少し活動に対する説明。（何をするか、どんなことをするか具体的に細かく絵や写真を使ってやってくれると言葉がもっと入りやすいかなと思います。） ・個人に合わせて頂いています。	・療育開始の時間に絵カードなどで今日の流れなどを説明していますが、個人差も考慮して丁寧に対応していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	83%			17%	・適切だと思います。	・支援プログラムの内容と日頃の療育の関わりなど、説明していく機会を持っていきたいと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	84%	8%		8%	・専門職も加え（OTなど）出来ると良いと思います。 ・適切だと思います。 ・丁寧に支援計画、作って頂いています。	・さらに保護者との話し合いを積んで、客観性を持たせた支援計画にしていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				・適切だと思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				・適切だと思います。 ・本当に丁寧に支援していただいています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	9%			・飽きずに通える内容だと思います。 ・様々な活動が体験することができ、園外保育のプログラムも増え工夫されていると思います。	・活動プログラムやバリエーションを増やし、年齢や発達に沿ったプログラムを行うように努めていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	33%	17%	25%	25%	・野外活動の時に触れ合うのでしょうか。	・保育園や幼稚園等に併用している児童も多く、現在は交流や活動する機会はないのが現状です。 ・子ども未来館などで他児と同じ空間を共有しますが、共に活動することは現在ありません・
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				・適切だと思います。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				・適切だと思います。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	84%	8%	8%		・ペアレントトレーニングも行ってほしい。 ・適切だと思います。	・様々な要望や相談を受ける場をこれからも大切にしていきます。また、保護者研修を通じて学び、交流できる機会を増やしていきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	91%	9%			・親と子どもと一緒に絵、写真なども使って一日の振り返りをしてくれると良いなと思います。子どもに表現をさせたりしながら。 ・適切だと思います。	・日頃から保護者とのコミュニケーションを大切にしていきます。 ・子どもの状況についてお伝えできる機会を大切にしていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				・適切だと思います。 ・定期的に十分な時間の面談を設けて下さり、いつでも相談できる環境で有難いです。 ・何かあれば相談させていただいて大変助かっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				・適切だと思います。 ・共に子供の成長を喜び、見守って下さっているのを常に感じ、感謝しています。	寄り添うことを大切にこれからも保護者に対していきたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	50%		25%	25%	・兄弟もイベント等に参加できるようにしてほしい。 ・イベントが沢山あるように思います。親・兄弟への配慮もされていると感じます。 ・以前、先輩ママとお会いできる会を開催していただき、心強いアドバイスを沢山いただきました。	・保護者同士がもっと多くの交流を持てると良いと思います。これからも保護者同士の交流を機会あるたびに意識していきたいと思います。 ・ご兄弟のいるご家族同士の交流が出来る機会を作っていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84%	8%		8%	・適切だと思います。	・相談等がスムーズにできる環境づくり、体制をさらに整備し、園だよりなどで保護者の皆様に周知してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				・適切だと思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	67%	8%		25%	・HP,SNSは見てないので分かりませんが連絡体制の情報共有はしてないように思えます。 ・ブログが発信されるようになり、活動の様子が知ることができ嬉しく思っています。	・自己評価の結果は今年も皆様に配布させていただきます。また、園だよりやHPを通じて、きめ細かい情報をお届けしてスムーズに意思疎通や情報伝達が出来るように努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%		8%		・適切だと思います。	・個人情報に対しては、改めて守秘義務の原則を理解して間違いないように対応していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	91%		9%		・適切だと思います。	・マニュアル策定後は順次保護者には周知していただけるよう配布してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75%			25%	・訓練するのであれば、実践して、子どもたちと一緒に行うべきです。	定期的な消防訓練は療育時に訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	91%			9%	・適切だけど、安全確保についての説明はして頂いたかは不明です・	・安全計画の作成、マニュアル作り、緊急時の救護など計画と周知を図っていきます。 ・保護者も交え救命救急の講習訓練も行っていきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				・適切だと思います。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	100%				・適切だと思います。 ・沢山声が出ていたり笑顔も多く見られたりするので安心していると思います。 ・送迎の際、先生方といる時はいつも嬉しそうな顔で安心して通えているのがよく分かります。 ・通所ではない日でも、たけのこ園に行きたがります。	・これからも子どもさんや保護者の皆様から信頼してもらえる事業所づくりに努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	9%			・日によって違います。 ・適切だと思います。 ・自らおかばんを持つときがあるので、楽しみにしていると思います。 ・とても楽しみにしています。朝起きて「今日はたけのこ園」と嬉しそうに登園の準備をしています。 ・子供だけではなく、私も先生方の優しい空気は触れるのが楽しみです。	・ご家族にとってたけのこ園が楽しい療育の場になるように、これからも努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	83%	17%			・いつもありがとうございます。 ・適切だと思います。 ・これからも、本人が困ることなく適切な支援の協力をお願いします。 ・先生方には感謝しています。 ・大変満足しています。たけのこ園の先生方に支えられながら親子で成長していくことができています。 ・通所も個別でも、丁寧に指導、相談させていただき、本当にありがたく思っています。	・子どもたちの成長を保護者の皆様と一緒に創り上げれるよう、様々な要望に耳を傾け、より良い事業を行っていくよう努めてまいります。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センター　たけのこ園

公表日　令和７年３月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・療育内容によってパーテーションを開閉して空間を使い分けている。	・指導室がもう一室欲しい。 ・トイレの数が足りなく、待つ時間が長い。 ・こども用便座を使用して、大人用トイレも使用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	・登園児童数によって職員配置を調整している。	・個別支援支援が必要な児童が多く職員が足りないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・比較的わかりやすい構造となっており、また、写真や絵カードで情報を提供している。	・玄関や園庭の出入り口には、段差があり気をつけて対応している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・建物は古いが清潔に保てるようにしている。	・園庭の遊具の塗装が劣化しており、塗装が必要になってきているので、保守点検を重視していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	100%		・必要な時は、個室に移り過ごすことが出来る。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・PDCAサイクルを用いた人事考課やサービスアップ活動に全職員が参加している。	・常に意識して業務改善に取り組んでいきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者からの意見には耳を傾け改善に努めている。毎年のアンケート結果をもとに保護者から出た意見について、共有し改善に努めている。	・常に意識して業務改善に取り組んでいきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	・少人数なので意見は把握しやすく、業務改善につながっている。	・日々の業務に流れてしまう傾向もあるので、十分に話し合いの機会をもって取りくんでいきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		・第三者による外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・県や障害施設事業協会及び施設内研修に参加出来ている。	・更に研修し、常に向上する意識を持ち続けたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	100%		・たけのこ園HPで公開し、保護者にも配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・保護者や相談支援員からの聞き取り、児童の課題の分析をし、ニーズに合わせて作成している。	・十分に時間をかけ丁寧に取り組んでいきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・担当職員や時には他職員にも話を聴き取りながら、共通理解のもと作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・会議を行い、全職員で共有する機会を持っている。また、個人ファイルにも収めている。	・常日頃から、支援計画に立ち戻る取り組みを大切にしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・入園児に日常生活や児童の行動状況を把握するアセスメントツールを使用している。保護者に記入していただいた後、聞き取りも実施している。また、遠城寺式発達検査やＮＣ-プログラム、必要に応じてVineland－Ⅱを用いて確認している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		園児に合わせて、スモールステップの目標及び具体的な支援内容にしている。	具体的な内容を支援計画に織り込むために、より綿密なアセスメントを行っていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		週担当リーダーが月案を作成し、それをもとにチームで相談しながら作成している。	活動プログラムなど内容的に深めていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	・個々に合わせて相応しい活動に参加できるようにしている。	・固定化しないように常に新ししいプログラムを取り入れていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	・個別と集団に分けて個別支援計画を作成している。	・支援計画の段階で、個々による個別と集団の特徴を取り入れた支援プログラムを意識していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・朝のミーティングで1日の流れ、支援内容について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	・必要事項についてはその都度報告をしている。 ・ミーティングノートに記入し、共有している。	・支援後の打ち合わせが、清掃等で抜けることが多いので定着させたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・日々、ミーティングノートや日誌などをつけて、支援に繋げている。 ・口頭でも報告をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的に個別支援会議を行い、最長6か月を超えないようにモニタリングを実施して	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・児発管や担当者など、園児をよく理解しているものが参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	・必要に応じて適切な関係機関と連携できるようにしている。特に併用している保育園や幼稚園との情報交換は力を注いでいる。	・定期的には行っていない。保育園や幼稚園以外は要請があれば支援の体制を整えている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・園児が併用している幼稚園や保育園と保護者の希望があれば、情報交換を行い共通理解が出来るように取り組んでいる。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	・保護者の希望があれば教育委員会へ情報提供し話し合いをしている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	―	―	―	―
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	―	―	―	―
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	―	―	―	―
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	67%	33%	・さくら市の児発センターに療育面のことでアドバイスを受ける機会を持った。	・矢板市にはセンターがなく、さくら市のセンターと連携を図る機会が少ない。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%		・併用児童が多いこともあり、コロナ前には実施していたが現在は行こなっていない。 ・地域にある子ども未来館などの園外保育で他児と同じ空間で接することはあっても、一緒に活動する機会はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・職員や専門指導講師がモニタリングの際や個別的関わりを通じて、共通理解を深めている。 ・個別指導時のカンファレンスで共通理解ができるように努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・外部講師のお話を聞く機会や専門講師の研修会を持っている。	・学校見学や公演など情報提供は行ってはいるが、保護者の参加状況はつかめていない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約を結ぶ際に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	100%		・保護者や相談支援員からの聞き取りを行い子どものニーズに合わせて作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・同意を得る際には、個別支援計画の原本を見せて保護者に補足説明をしながら行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・個別学習後のカンファレンスや送迎の際親子で登園した際に相談を受けている。保護者が相談しやすい雰囲気を感じられるように職員の対応も気をつけている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	・保護者会はないが、土曜日の親子通園の際、交流する機会を設けている。	・保護者のフリートークの時間を設けているが、リードする職員が必要となり、なかなか難しい点である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・相談や申し入れがあった際は、職員間で共有、検討し対応している。	・文書等で周知していないので、今後、園だよりなどで周知していきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・園だよりやHPで日々の活動の様子を載せている。年度末には文集を発行している。 また、一斉メールを使用し、連絡体制の充実を図っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・日頃から注意している。 ・幼稚園や保育園との情報交換も事前に保護者に伝えてから行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・個々に合ったコミュニケーションツールを考えながら行っている。絵カードやマカトンサイン等を使用している。 ・保護者の方に合わせて、ツールを使い分	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	・近隣の高齢者デイサービスと敬老会やクリスマス会でプレゼント交換をしている。	・事業所の行事に地域住民を招待することはハードルが高いと感じています。
非常時等	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・各種マニュアルは作成している。 ・児童発達支援事業として行うべき消防訓練は実施している。	・今後、順次、各種マニュアルの周知を図っていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・BCPを策定し訓練を行っている。	・今後、訓練内容もより実践的なものにしていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・入園の際に記入して頂いたり、聞き取りを行っている。入園後も年度初めに確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17%	83%	・保護者からアレルギーの確認を行っているが、医師の指示書はもらっていない。 ・行事等で食品を提供する際は、保護者に再度確認し安全を図っている。	

の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%	・療育中に想定される事故に関しては、職員間で話し合い、安全管理に努めている。	・現在マニュアルを作成中。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	33%	67%		・現在マニュアルを作成中であるが、作成後は保護者に周知したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	67%	33%	・ヒヤリハットの事例があった際は、報告書を作成して再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・毎年、法人内研修に職員全員が参加している。 ・セルフチェックシートを年２回実施し行動を見直している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・法人として身体拘束に係る研修を行い参加している。	・身体拘束の事例は今までないが、適正な対応については、保護者に周知し、情報を提供していきます。